

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公表番号】特表2018-512173(P2018-512173A)

【公表日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2018-018

【出願番号】特願2018-502055(P2018-502055)

【国際特許分類】

A 2 3 K 40/35 (2016.01)

A 2 3 K 20/142 (2016.01)

A 2 3 K 20/158 (2016.01)

A 2 3 K 50/10 (2016.01)

【F I】

A 2 3 K 40/35

A 2 3 K 20/142

A 2 3 K 20/158

A 2 3 K 50/10

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

反芻動物のためのルーメンバイパス組成物であって、

アミン化合物、及び

有機酸を含む脂肪酸成分、

を含み、

前記アミン化合物及び前記有機酸が、アミン-有機酸塩を形成するように構成され、前記脂肪酸成分が、40以上の中点及び45以下のヨウ素価を有する、ルーメンバイパス組成物。

【請求項2】

前記脂肪酸成分が、パルミチン酸、ステアリン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸、エイコサペンタエン酸(EPA)、ドコサヘキサエン酸(DHA)、又はそれらの組み合わせを含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項3】

前記脂肪酸成分が、パルミチン酸、ステアリン酸、又はそれらの組み合わせから本質的に成る、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項4】

前記脂肪酸成分が、約1質量%～約50質量%のオレイン酸成分を含み、前記オレイン酸成分が、オレイン酸、オレイン酸エステル、高オレイン酸油、又はそれらの組み合わせを含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項5】

前記脂肪酸成分が高オレイン酸油を含み、前記高オレイン酸油が、少なくとも40質量%のオレイン酸含量を含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項6】

前記有機酸が、パルミチン酸、ステアリン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレン酸、エイコサペンタエン酸（EPA）、又はドコサヘキサエン酸（DHA）、又はそれらの組み合わせを含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項7】

前記アミン化合物が、アミノ酸、アミノ酸誘導体、又はアミノ酸前駆体を含み、前記アミノ酸が、ロイシン、リシン、ヒスチジン、バリン、アルギニン、スレオニン、イソロイシン、フェニルアラニン、メチオニン、トリプトファン、カルニチン、アラニン、アスパラギン、リシン、アスパラギン酸、システイン、グルタミン酸、グルタミン、グリシン、バリン、オルニチン、プロリン、セレノシステイン、セレノメチオニン、セリン、又はチロシンを含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項8】

前記アミン化合物が、リシン化合物又はメチオニン化合物を含み、前記リシン化合物が、リシン、リシンエステル、リシンアミド、リシンイミド、又はリシン前駆体を含み、前記メチオニン化合物が、メチオニン、メチオニンエステル、メチオニンアミド、メチオニンイミド、又はメチオニン前駆体を含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項9】

前記アミン-有機酸塩が、リシン化合物及び少なくとも8つの炭素の炭素鎖を有する長鎖脂肪酸の塩を含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項10】

前記アミン-有機酸塩が、メチオニン化合物及び少なくとも8つの炭素の炭素鎖を有する長鎖脂肪酸の塩を含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項11】

前記ルーメンバイパス組成物が、外部層を有する粒子を含み、前記外部層が少なくとも1つの内部コアをカプセル化し、前記内部コアが前記アミン-有機酸塩を含み、前記外部層が前記脂肪酸成分を含み、前記内部コアが、前記外部層よりも高いレベルの前記アミン-有機酸塩を含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項12】

界面活性剤成分、フィラー、帯電防止剤、可塑剤、着色剤、食欲刺激剤、香味剤、又はそれらの組み合わせをさらに含む、請求項1に記載のルーメンバイパス組成物であって、前記界面活性剤成分が、約5～約25の親水親油バランス値を有する乳化剤を含む、ルーメンバイパス組成物。

【請求項13】

前記界面活性剤成分が、ポリオキシエチレンステアレート、ポリソルベート、ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート、ポリオキシエチレンソルビタンモノオレアート、ポリオキシエチレンソルビタンモノパルミテート、ポリオキシエチレンソルビタンモノステアレート、ポリオキシエチレンソルビタントリステアレート、アンモニウムホスファチド、脂肪酸のナトリウム塩又はカリウム塩又はカルシウム塩、脂肪酸のマグネシウム塩、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリド、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの酢酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの乳酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドのクエン酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドのモノアセチル酒石酸エステル及びジアセチル酒石酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの酢酸エステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドの酒石酸エステル、脂肪酸のスクロースエステル、スクログリセリド、脂肪酸のポリグリセロールエステル、ポリグリセロールポリリシノレート、脂肪酸のプロパン-1,2-ジオールエステル、脂肪酸のモノグリセリド及びジグリセリドと相互作用した熱酸化大豆油、ナトリウムステアロイル-2-ラクチラート、カルシウムステアロイル-2-ラクチラート、ソルビタンモノステアレート、ソルビタントリステアレート、ソルビタンモノラウレート、ソルビタンモノオレアート、ソルビタンモノパルミテート、又はそれらの誘導体を含む、請求項12に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項14】

前記界面活性剤成分が、オレイン酸由来の界面活性剤を含む、請求項1_2に記載のルーメンバイパス組成物。

【請求項 1_5】

前記界面活性剤成分が、オレイン酸ナトリウム、オレイン酸カリウム、オレイン酸カルシウム、オレイン酸アンモニウム、オレイン酸ソルビタン、トリオレイン酸ソルビタン、オレイン酸グリセリル、オレイン酸メチル、オレイン酸エチル、オレイン酸 P E G、オレイン酸トリエタノールアミン（オレイン酸 T E A ）、オレイン酸ポリソルビタン、ポリソルベート 20、ポリソルベート 40、ポリソルベート 60、ポリソルベート 80、又はこれらの組み合わせを含む、請求項1_2に記載のルーメンバイパス組成物。